



ニッペ ファインシリコンベスト
ターペン可溶1液反応硬化形住宅用化粧スレート屋根塗替え用塗料

□ 特 長

- ・弱溶剤系であるため、臭気がマイルドで、下地を選ばずに塗装できます。
- ・防藻・防かび機能があります。
- ・耐候性に優れ、太陽光線・雨などに強く、美粧性・耐久性が長期に持続します。
- ・ポットライフがないので、塗料ロスが少なくてすみます。
- ・水性よりも塗装直後の雨、霜などの影響を受けにくい塗料です。

□ 塗 料 性 状

色		常備色(枠内に記載)				
密度(g/cm ³)(23℃)		0.92 (ブラック)				
光 沢		つや有り				
引 火 点		41				
発 火 点		272 (参考値)				
消防法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料				
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)				
	危険物等級	III (火気厳禁)				
有 機 溶 剤 区 分		第3種				
毒 劇 物 表 示		-				
有 害 物 表 示		-				
国 連/指 針 番 号		1263/128				
環 境 性 能	クロル [®] リス	配合せず	ホルムアルデヒド [®]	配合せず	トルエン	0.1%未満
	キシレン	1%	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラヒド	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアゾノ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		52.2%				
商 品 ラ イ ン ナ ッ プ		ナコン、グリーン、モスグリーン、マルシ、ニューライン、コーヒブラウン、チョコレート、ダークチョコレート、ダークグレー、ディープグレー、ブラック、ミラノグリーン、ナポリブラウン、トリノブラウン、ホワイト、ローマレンジ、オレンジレッド、ブラウン、ライトグレー、ジェノバブラウン、ベネチアブルー、赤さび、スカイブルー、ボローニャグリーン				

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

□ 塗 装 基 準

荷 姿：
希 釈 剤：
塗 装 方 法：

15kg
塗料用シナー-A

塗 装 方 法	はけ、ウールローラー、エアレススプレー塗り
希 釈 率	10～15%
使 用 量	0.15～0.18kg/m ² /回

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾 燥 時 間：

	5～10	23	30
指 触 乾 燥	90分	40分	30分
塗 り 重 ね 乾 燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 特 記 事 項

- ・水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- ・水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります)。
- ・下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm²)以上の高圧水洗が金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- ・昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・粘土瓦の種類で釉薬瓦へ塗装する場合は、ファインパーフェクトベスト強化シーラーを下塗りとしてお使いください。
- ・その他の粘土瓦(いびし瓦など)には使用しないでください。
- ・洋風コンクリート瓦仕様の再塗装の場合は、別途最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ・経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、「ニッペファイン浸透造膜シーラー」、「ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー」をご使用ください。
- ・シリコンベスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生することがあります。試し塗りなどでご確認のうえ、本施工を行ってください。
- ・シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- ・下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- ・防さび性はありません。むね、すみむねなど金属製役物が、さびている場合は、発錆部とその周囲を十分にケレンし、下塗りに、「ニッペ1液ハイボンファインデクロ」塗装後、上塗りを塗装してください。
- ・塗り替え後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- ・無石綿スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。

□ 注 意 事 項

- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
 - ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
 - ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
 - ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
 - ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
 - ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
 - ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
 - ・薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
 - ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
 - ・汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
 - ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
 - ・可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
 - ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
 - ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。